

## 裏作の飼料用ムギ、いい感じですよ！

～稲 WCS の裏作で牧草栽培に取り組みました～

安房農業事務所改良普及課 令和8年2月19日発

鴨川市内では令和5年度から、稲 WCS の収穫後に酪農家が牧草の作付けを行っています。令和7年秋にはエンバクとオオムギを合わせて約3ヘクタール播種し、令和8年2月5日から収穫を開始しました。オオムギは牛の嗜好性が良いとの評判を受け、今回新たに取り組みましたが、早生品種の生育が良好でした。

この取組は、酪農家にとっては自給飼料の確保、水稻農家にとっては秋冬期の耕うん作業の省力化につながり、双方にとってメリットがあります。牧草播種前に堆肥の散布も行っており、地域内での資源循環や地力向上が期待されます。

安房農業事務所では、牧草と土壌、令和8年作付けの稲 WCS の生育・収量を調査し、酪農家と水稻農家にデータを示すことで、より良い耕畜連携のあり方を検討できるよう支援していきます。



収穫はモアで刈り倒し、予乾を経てロールベアラーで収穫、ラッピング、という工程です。写真はロールベアラーで牧草を丸めているところです。

初めて取り組んだオオムギ